

誰もが幸せな社会のために

氏名： 湯田 しおり

学校名： 三春町立岩江中学校

担当教科： 数学

実践教科： 数学・道徳・総合的な学習の時間

時間数： 12 時間

対象学年： 2 学年

人数： 20 名

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）：

誰もが幸せな社会のために C-（18）国際理解、国際貢献

開発途上国で暮らす人々の現状と問題を理解するとともに、他国を尊重しつつ世界の平和に貢献しようとする態度を育てる。

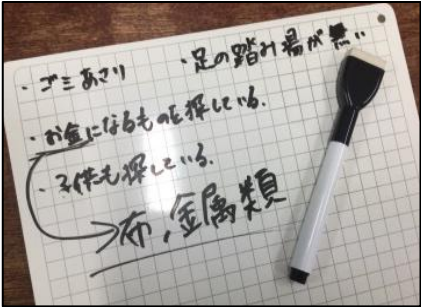
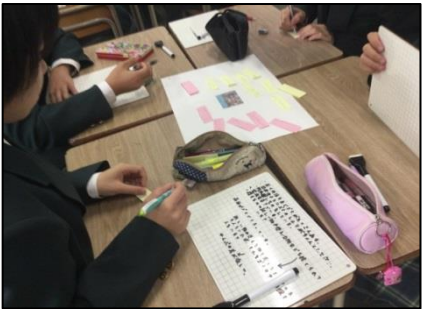
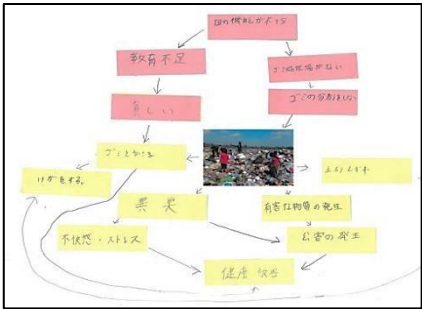
【2】 単元の評価 規準例	（ア）関心・意欲・態度	他国に関心をもち、多様な価値観を尊重しつつ世界の平和に貢献しようとしている。
	（イ）思考・判断・表現	多様な意見に触れながら、自分の考えを表現することができる。
	（ウ）技能	問題の解決策を見いだすことができる
	（エ）知識・理解	開発途上国で暮らす人々の現状と問題を理解している。
【3】 単元設定の理由	（1）生徒観 本学級は男子 11 名、女子 9 名、計 20 名が在籍している。本音を言い合える雰囲気をつくることを学級目標とし、多様な価値観を認め合うことを大切にしている。フィリピンの文化や考えなど異なる価値観に触れることで、多様な価値観のよさに気づかせたい。また、国際的な問題について知り、その問題を自分事として考えることで、グローバルな視点をもたせていきたい。 （2）教材観 学習指導要領 C-（18）は「世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与する」ことをねらいとしている。さらに、「国際的視野に立ち、すなわち、広く世界の諸情勢に目を向けつつ、日本人としての自覚をしっかりとって国際理解に努めることが必要である。」としている。これからさらにグローバル化が進み、多様な価値観の人々と関わっていく必要に迫られる社会の中で、世界に目を向け、日本人として国際社会のために何ができるのかを考えていく必要がある。本単元では、SDGs（持続可能な開発目標）の学習を軸に、YDGs（湯田先生が考える SDGs）を設定し、フィリピンが抱えている課題について知る。そして、誰もが幸せな社会のために、問題をどうすれば乗り越えることができるのかを深く考え、議論する場面を作っていきたい。 （3）指導観 今回は、パヤタスのゴミ山という題材をきっかけに、現地で出会った人の異なる思いを通して、貧困・経済・環境などの問題に迫っていきたい。ゴミ山からさまざまな問題が生まれている一方で、「ゴミ山はなくてはならないものだ」という思いをもつパヤタスの人々がいる。その間で、どのように折り合いをつけていくべきか、問題解決型の道徳授業を通して考えさせたい。	

	授業を行う上で、ゴミ山の背景や問題について理解させるために、前時の授業においてゴミ山の派生図を作成する。ゴミ山の背景にはどのような問題があるのか、ゴミ山からどのような問題が生まれるのかについてグループで話し合う場面を設ける。ゴミ山の課題について理解を深めた上で、「ゴミ山はなくてはならないものだ」という思いに触れることで、さまざまな問題を抱える存在である一方、現地の人々にとってはなくてはならない存在であるという葛藤状況をつくり、生徒に問いをもたせるようにする。ゴミ山＝貧困問題ということに目が向きがちだが、そのことを解決するためにはさまざまな問題が関わってくることを、そして自分事として問題を考える必要があることを地域のリーダーという立場に立って考えさせたい。
--	--

【4】展開計画（全 11 時間）

時	テーマ	活動・内容	使用教材
1～3（事前）	【数学】 フィリピンへ数学の問題を送ろう	英語で連立方程式の文章問題を作成する。 <problem> one shougatsu is 300yen one halo halo is 200 yen You buy 10 and it was 3200yen How many shougatsu and Halo Halo did you buy? <Shougatsu>  <Halo Halo>  Question You enter Himeji Castle. You saw two groups go in. One groups was two adults and four children. They paid 1200 yen. One group was three adults and three children. They paid 1350 yen. How much is it for one adult and how much is it for one child?  Himeji Castle 〔英語で作成した連立方程式の文章問題〕	- 教科書（数学・英語） - 和英辞典 - iPad
4	【数学】 フィリピンからの問題を解こう	- フィリピンの授業風景や、解いてもらった自分の問題を見て、違いや共通点を探る。 - フィリピンの高校生が作成した連立方程式の文章問題を解く。 Martin's score in his first 4 tests are 89, 90, 91 and 95. What must be his fifth score to get an average of 90?  Martin Eric: Hey! Good luck in answering this question. You can do it! -Karyll John David D. Trinidad 10-Karunigan Family I bought 5 dragonfruits and 6 mangoes, It costs 900 yen. I bought 10 dragonfruits and 5 mangoes, It costs 1100 yen. What is the value / price of one dragonfruit? What is the value / price of one mango? 〔ドン・アレハンドロ・ロセス科学技術高校の 10 年生が作成した問題〕	- 教科書（数学・英語） - 英和辞典 - iPad - プロジェクタ
5	【道徳・総合的な学習の時間】 SDGs を知ろう	- SDGs とは？ SDGs イントロダクションの映像とセーブ・ザ・チルドレンのパンフレットを用いて、SDGs について知る。 - ながりマップをつくろう SDGs の 17 の項目がどのように関連しているか話し合い、つながりマップにまとめる。	- SDGs 動画 - SDGs パンフレット（セーブ・ザ・チルドレン） - SDGs カード

	〔つながりマップづくり〕		
6	YDGs①「ちがい」	① フィリピン 4 択クイズ フィリピンの情報や研修で気づいたことなどを 4 択クイズにし、日本とフィリピンの文化の違いを知る。 ② ちがいのちがい フィリピンで感じた日本とのちがいについて、「あっていいちがい」か「あってはいけないちがい」か考え、学級内で互いの意見を聞きあう。 ③ 振り返りカルタ 気づいたことや感じたことなどを 5・7・5 で表す。	・ プロジェクタ ・ 写真 ・ ワークシート ・ かるたカード
	第1問 フィリピンは島国ですが、島の数はいくつある？ フィリピン A 約350 B 約1200 C 約7000 D 約10000 第2問 このバナナの葉、何に使う？ A 座布団の代わり B 皿の代わり C うちわの代わり D ぞうきの代わり 最終問題 ハイヤンちゃんという名前、どんな意味？ A 台風 B 雲 C 地震 D 洪水 〔フィリピン 4 択クイズのスライド（一部）〕		
7	YDGs②「ともに」	① フォトランゲージ 6 枚の写真（台風ヨランダ、東日本大震災）を見て、気が付くことを話し合う。 ② ダイヤモンドランキング 自分が市長だったら復興のためにどのようなことに力をいれるか考え、ランキングを作成する。 ③ インタビュー映像を見て、タナワン市長の取り組みについて知る。 ④ 振り返りカルタ 気づいたことや感じたことなどを 5・7・5 で表す。	・ 写真 ・ ワークシート ・ インタビュー映像 ・ かるたカード

8	YDGs③ 「できること」 第1時 問題点の整理	① フォトランゲージ ゴミ山で働く子どもたちの写真を見て、気づいたことを話し合う。   ② ヴィーナさんのインタビューを見て、パヤタスのゴミ山の現状について知る。 ③ ゴミ山問題の派生図をつくろう ゴミ山の原因（ピンクの付箋）とゴミ山から起こる問題（黄色の付箋）を挙げ、どのように問題がつながっているか線で結ぶ。   〔ゴミ山問題の派生図〕	・ プロジェクタ ・ 写真 ・ ミニホワイトボード ・ インタビュー映像 ・ ワークシート ・ ふせん
9 本時	YDGs③ 「できること」 第2時 問題解決に向けて	① ゴミ山の問題点の確認 ② サラさんの思いを知る ③ フローチャート これからゴミ山の問題をどのように解決していけばよいか、考えられることをフローチャートにまとめる。 ④ 決方法を1つ決め、ミニホワイトボードに書く フローチャートをもとに、地域のリーダーの立場に立って、どのように解決するか考える。	・ ワークシート ・ プロジェクタ ・ ミニホワイトボード ・ かるたカード
10	YDGs③ 「できること」 第3時 映画から考えよう	・ 映画『神の子たち』鑑賞	・ 『神の子たち』DVD
11	YDGs④「自立」	① 認定 NPO 法人アイキャン・羽根さんのインタビューを見て、現地での支援とそれに対する思いについて知る。 ② 「自立のための支援」とは？ 羽根さんの立場だったらどんな支援をするか、学級内で	・ 写真 ・ インタビュー映像 ・ プロジェクタ

	意見を聞きあいながら考える。 羽根さんの課題 どうすれば 「自立のための支援」 ができるだろう  もらえることがあたり前の支援 ↓ 自分で考える力がない 誰かがやってくれる 自分に自信がない でも押し付けちゃいけない あなたが羽根さんの立場だったら どんな「自立のための支援」ができますか？ 〔使用したスライドの一部〕
12	YDGs⑤「誰もが幸せな社会のために」 ①SDGs インデックス&ダッシュボード 3つのダッシュボード（日本・フィリピン・スウェーデン）の中から日本がどれか考え、日本や世界の取り組みの現状について知る。 ・SDGs インデックス、ダッシュボード  スウェーデン  日本  フィリピン ②誰もが幸せな社会のために 「誰もが幸せな社会のため」に、私たちは何ができるのか考え、独自のマニフェストを作成する。 SDGs アクションリストをつくる ↓ アクションレベルグラフにまとめる ↓ SDGs マニフェストをつくる 今からできること（黄）、ちょっと頑張ればできること（ピンク）に分けてマニフェストをつくる。 ・ワークシート ・SDGs アイコンシール

「誰もが幸せな社会のために」



1. SDGs アクションリストを作成しよう

項目	アクション
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	
⑯	
⑰	
⑱	
⑲	
⑳	

2. アクションレベルグラフにまとめよう

できるレベル

高

低

現在 10年後 20年後 30年後

のSDGs マニフェスト

服を買い取る人たちに、
着れなくなった服や物を世界
中の人々に回そう。

のSDGs マニフェスト

(海外)
手助けしに
行く

【5】 本時の展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (5分)	1 前時に作成した派生図を見て、パヤタスのゴミ山の問題点を確認する。	○派生図に記入した問題点を全体で取り上げ、貧困・経済・環境などのさまざまな問題が関わっていることを確認する。	・派生図ワークシート
展開 (40分)	2 パヤタスに住むサラさんの思いを知る。	○「あなたにとってゴミ山はどんな存在ですか」という問いに、サラさんがどのように答えたか想像させる。	・プロジェクト
	3 もしあなたが地域のリーダーだったら、これからゴミ山の問題をどのように解決していけばよいか、考えられることをフローチャートに記入する。	○さまざまな問題を抱える存在である一方、現地の人々にとってはなくてはならない存在であることを理解させた上で、地域のリーダーという立場で考えさせる。 ○「どうする？」→「なぜ？」→「どうなる？」→「どんな課題がある？」という思考の流れをつくり、よりよい問題解決策の吟味をさせるようにする。 ○学級内で自由に交流し、多様な意見を取り入れながら自分の意見をもたせていくようにする。	・ワークシート

まとめ (5分)	4 最終的な自分の考えをミニホワイトボードに書き、全体で共有する。 5 SPNP（手工芸のフェアトレード団体）についての話を聞く。 6 本時の学習を振り返り、カルタにまとめる。	○できるだけ多くの人と交流するよう声掛けを行う。 ○フローチャートをもとに、最終的な自分の意見をもたせるようにする。 ○フェアトレード商品を見せ、SPNPの活動を伝える。 ○気づいたことや授業を通して感じたことなどを5・7・5で表す。	・ ホワイトボード ・ フェアトレード商品 ・ かるたカード
---------------------	---	---	---

【授業実践の様子】（本時での写真を添付し、キャプションをつけて下さい）

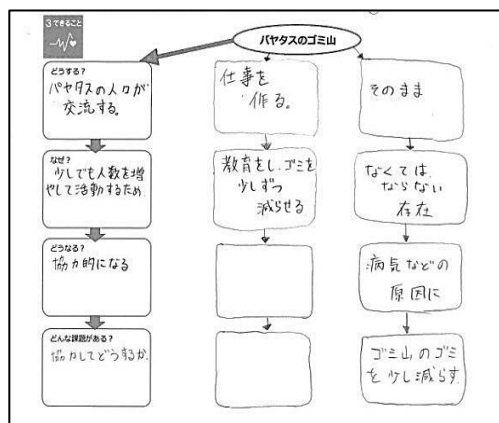


◎ パヤタスの人々が幸せになるために、ゴミ山問題をどうすれば解決できるかともに考えよう

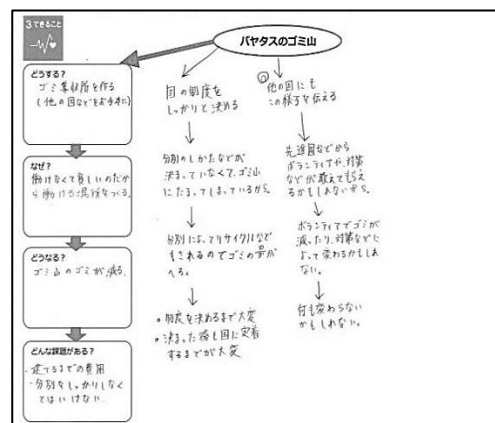
使用したスライドの一部



派生図をもとにゴミ山の問題点を再確認



意見交流しながらフローチャートを作成



生徒のワークシート



板書の一部



自分の考えをミニホワイトボードに書いて全体で交流



紹介したフェアトレード商品

【6】 本時の振り返り

振り返りカルタ（抜粋）

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| 「ゴミ山に 残された物で リサイクル」 | 「工夫して ゴミ山と生きる パヤタスの人」 |
| 「ゴミ山は 減らすだけでなく 必要な物」 | 「協力 ゴミ山のため 人のため」 |
| 「問題を 協力し合って 解決だ」 | 「全員で 協力すれば むてきだよ」 |
| 「ゴミ山を 生かして暮らす パヤタスの人」 | 「必要ない そう言えるように なってほしい」 |
| 「人々が 幸せになる 自分の答え」 | |
| 「ここでああだこうだ言っても 変わらない 動くことが大切」 | |
| 「ゴミの山 なくしていくのか 残すのか この判断に 正解はない」 | |

第 10 時 映画『神の子たち』感想より

- ・ 前回「ゴミ捨て場はなくてはならないもの」ということについて、正直あまり分からなかったが、少し分かったような気がした。
- ・ 前回の授業で、「ゴミ山はなくなった方がいい」と思っていたが、現地の人の話を聞いて、「そのままでいいのかな」と思うようになった。
- ・ 今まで「ゴミ山はいらないんじゃないか、どうやったら無くなるんだろう」とばかり考えていたが、映画を観て、ゴミだけでなくこの国自体が抱えている問題から解決しないといけないんだなと思った。
- ・ 私たちがゴミ山と聞くと、良いことは何も想像できないが、ゴミ山に住んでいる人たちは、ゴミ山をとても大切なものだと思っている。暮らし方も何もかもが違った。
- ・ 子どもが学校へ行っているのがあたりまえだと思っていたけれど、勉強したくてもできない子がいることが分かって、とても悲しかった。

【7】単元を通した児童生徒の反応/変化

【数学】

○授業後の振り返りから（抜粋）

- ・ フィリピンの人が作った問題は、動物の足の数を使った問題がユニークでおもしろかった。
- ・ 同じアジアだけど文化の違いを感じた。
- ・ 数学の問題を作ることや、問題を英訳すること、返ってきた問題を和訳することが楽しかった。また、返ってきた感想の文字が独特で、解読が難しかった。
- ・ 私の問題を解いてくれた人は、どんな気持ちだったんだろう。
- ・ 自分で問題を作って英語にすることは難しかったけれど、解いてもらえてとてもうれしかった。
- ・ 英語ばかりで不安だったが、ある程度の単語や問題の傾向が分かれば、ほとんど解くことができ、数学ってすごいなと思った。
- ・ フィリピンの10年生の方々も、私たちが作った問題を一生懸命解いていました。すごいと思いました。世界でも私たちの数学は通用するんだなと思いました。フィリピンの学生たちも、私たちと一緒に頑張っているんだなと思いました。
- ・ とても親切にメッセージを書いてくれて、問題を作ってよかった。フィリピンも日本も…世界中が数学では1つになれた気がした。

【道徳・総合的な学習の時間】

第6時 ちがい

○振り返りカルタ（抜粋）

「あたりまえ 他の国では ちがうこと」 「生きる文化が異なるなら ちがいはあっていいと思う」
「フィリピンと 日本の違い あっていい？」 「国ごとに ちがっていて いいのです」
「フィリピンと 日本の違い あっちゃだめ」 「いじめなしの フィリピンだけど 銃はある」
「日本とは 異なっている 文化だが 認めたり正すことも 大事なんじゃないかと 思った」
「いろんなちがいがあってもいいところをまねしあえば両方よくなると思いました」

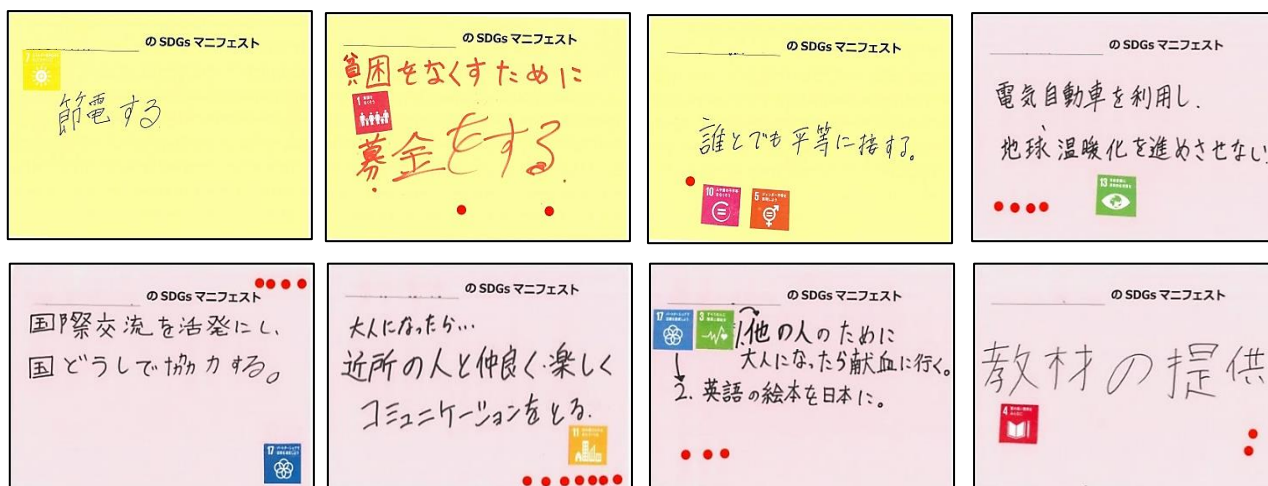
第7時 ともに

○振り返りカルタ（抜粋）

「災害時 優先するのは 水だね」	「誰かにやってもらうのではなく 自分でやる」
「災害時 一人一人を 大切に」	「フィリピンの 市長がやった事 地域の協力」
「人々のつながりが 命を救うことがある」	「協力は 復興のため みんなのため」
「人々との 交流が 一番大事」	「交流で 地域の復興 進めてく」
「災害後 リーダーシップが 大事だね」	「災害は みんなで支え合い のりこえる」

第12時 誰もが幸せな社会のために

○SDGs マニフェスト



○最終振り返りカルタ（抜粋）

「国ごとに 違いがあって それでよし」	「一人一人 考え方あって 別にいい」
「それぞれが みんなちがって みんな良い」	「何事も 動かなければ はじまらない」
「今の自分 できることから やっていこう」	「探そうよ 今僕たちが できること」
「学習で 思ったことを 行動へ」	「できないと 諦めないで 始めよう」
「できること 行動しよう みんなでね」	「全員で 協力し合えば よくなるよ」
「他国には いろんな問題ありますが 協力すれば 解決できる」	
「あたりまえ 他の国とは 異なるが 他国の復興 皆と協力」	
「見つけよう 国内外の 問題を 日本の技術力 なめんなよ」	
「貧困や 環境を守る 方法は ほとんどちがうが 目的は同じ」	

【授業後アンケート】

これまでの授業の中で一番印象に残った内容

授業内容	人数	理 由
「SDGs」	1 人	・世界の国々が1つの目標に向かっていっているところに、世界のつながりを感じられたから。
「ちがいは」	1 人	・日本との違いについて知ることができたから。
「ともに」	1 人	・楽しかったし、ダイヤモンドランキングですべてをとることが無理なので、よく考えることができた。
「できること」	16 人	・あたりまえのことに感謝しながら生活していきたいと思ったから。 ・危険だけど、それでは収入がない人たちもいて、解決するのは難しいと思ったから。 ・ゴミ山が生活に欠かせないものだとは思ってなくて、大切だと思っている人がいることにびっくりした。 ・ゴミ山に住んでいる人はゴミ山が必要だけど、ゴミ山に住んでない人には必要なくて、同じ国なのに考え方が違うんだなと印象に残りました。 ・あんなにゴミがあるのにも驚いたが、それを必要としている人々がいる今の状態がどうなのかなと考えさせられたから。 ・これが一番「生か死か」に近かったため。ゴミを片づけて金なくなるか、ゴミの中から金になるものを見つけて生きるか。
「自立」	1 人	将来の夢に近かったから

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲があれば記載下さい】

【授業後アンケートより】

参加型学習を通し、他人の意見を認め合いながら、ともに考える意欲の向上

- ・ 1人では考えられないこともみんなで考えればよい答えが見つかることも分かりました。
- ・ 話し合いを通して、みんなの意見を聞いたのでよかった。
- ・ 人々と協力したり、自分たちでできることを考えたりして、将来にも役立つと思った。みんなの意見もいろいろ聞けてよかった。

異文化への関心の高まり

- ・ 今まで知らなかったフィリピンの問題などを知ることができた。できれば、もっと他の国の問題などを知り、考えていきたいと思った。
- ・ 国どうして協力するにはどうすればいいのかももっと考えてみたい。
- ・ 日本人や日本について、海外から見て日本とは？についてこれから考えてみたい。
- ・ いろいろな国の環境と環境問題の改善について考えていきたい。

将来の生き方への関心の高まり

- ・ 少し、将来の夢に近い話を聞いたのではないかなと思った。道徳は、正解がないので考えやすかった。
- ・ 今まで知らなかった各国の問題などについて知ることができてよかった。解決が難しそうな問題もあり、国も大変だと思った。将来は、その人たちの手助けに何かしたいと思った。

【途上国・異文化への意識の変容について記載下さい】

(授業前)

【サークル対話より】

「外国とこれから関わる時に大切なことは？」

コミュニケーション能力、互いを尊重すること、平和という意識をもつこと

「日本人としてどんな日本のよさを広めていきたいか」

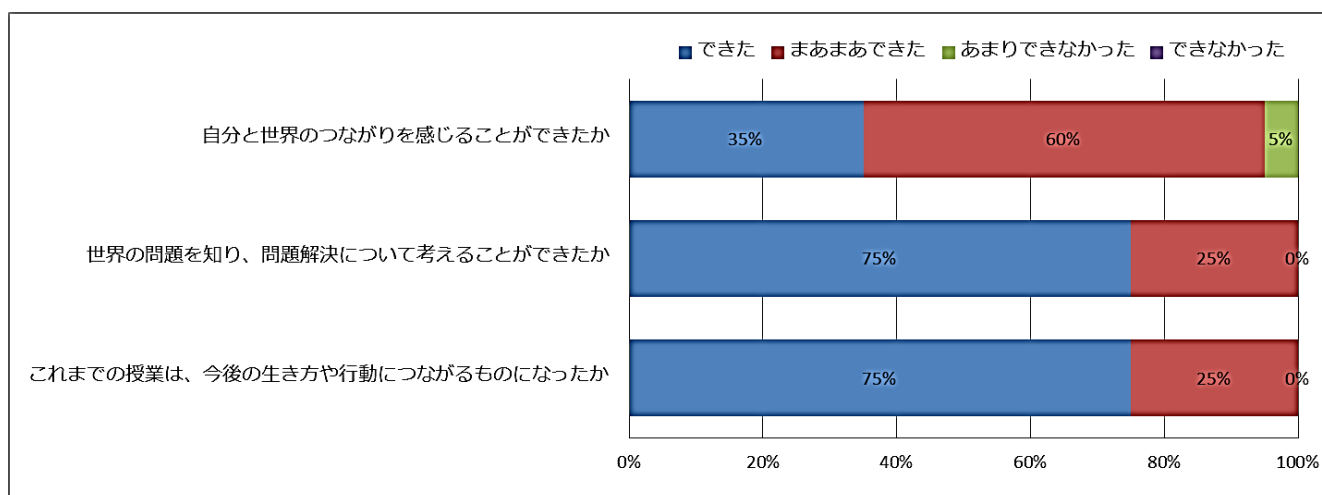
日本の文化・食、日本人特有の優しさ、手の細やかさ、外国の文化を取り入れて作り上げていった文化
学校の文化、治安のよさ、水がおいしい、トイレ

【アンケートより】

「社会で問題になっていることについて、どうすればよいか考えたことがある」肯定回答 65.0%

(授業後)

【授業後アンケート】



世界とのつながりについて

- ・日本とフィリピンでたくさんの違いがあつて、でもそれぞれに違いがあつていいのかなと思った。
- ・環境や文化の違いや海外の国で起っている問題だけでなく、日本が抱えている問題などが分かった。
- ・他の国のことなど、あまり知らないことを道德の授業によって知ることができた。日本と違うところに衝撃を受け、貧しい人々がまだたくさんいると分かった。このことで外国について興味をもつことができた。
- ・今までは他国との違いが分からなかったが、この学習を通して他国のことをたくさん知れたのでよかった。
- ・国が違うだけで、あれだけの違いがあることには驚いた。けど、そのちがいが国の良さなのかなと思った。

世界の問題解決のための意識について

- ・前は、自分の見えるところでしか考えていなかった。もっと大きなところを見ることができてよかった。
- ・今回の単元では、現地の人々の立場に立って考えることができたと思う。先生の体験や映画などを観て、今まで以上に考えさせられた。
- ・1人では考えられないこともみんなで考えればよい答えが見つかることが分かった。
- ・SDGs や、日本とフィリピンの違いについて、今の日本とはほど遠いかなと思った。話し合いを通して、みんなの意見を聞いたのでよかった。
- ・人々と協力したり、自分たちでできることを考えたりして、将来にも役立つと思った。みんなの意見もいろいろ聞けてよかった。

今後の生き方や行動へのつながりについて

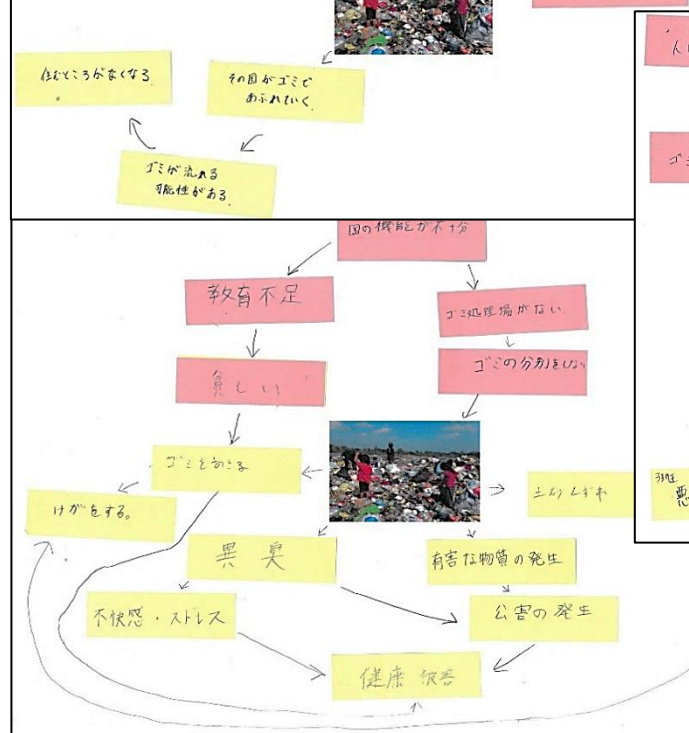
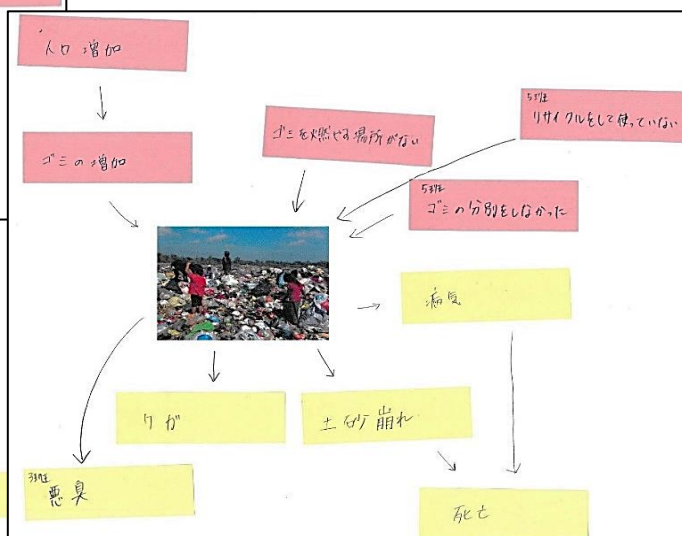
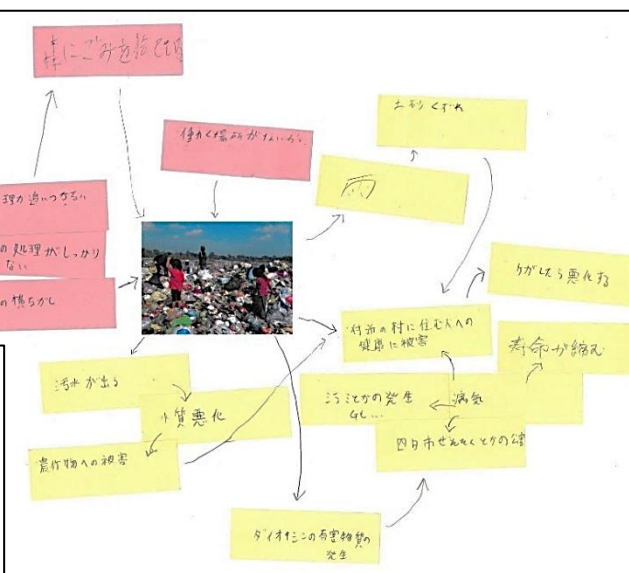
- ・先生が実際に行って、見てきたことや感じたことを聞いたり、映像を見たりしたことがとても印象に残り、ちゃんと協力しなきゃと思いました。
- ・日本とは全く違う文化や考え方があつて驚いた。でも、文化は違っていても、それを支援したり理解したりはできるのではないかなと思った。世界とのつながりも感じることもできたのでよかったと思う。
- ・外国には発展途上国があるというのは授業やテレビでぼんやりと知っているくらいだったが、今回フィリピンという具体的なことを知って少しショックを受けた。また、日本にもまだまだ解決すべき問題が残っていて、自分たちのできることを少しずつやれたらいいかなと思った。
- ・今まで知らなかった各国の問題などについて知ることができてよかった。解決が難しそうな問題もあり、国も大変だと思った。将来は、その人たちの手助けに何かしたいと思った。

【8】自己評価

1. 苦労した点	・フィリピン研修で感じたことや伝えたいことが多く、単元構成を考えるのに苦労した。その際、研修中に毎日の振り返りで発表していたキーワードが授業をつくるカギとなった。 ・パヤタスのジレンマをどのように考えさせるか、とても悩んだ。モラルジレンマ授業やロールプレイ、思考の数直線を使うなど試行錯誤したが、AかBだけではなく第3の選択肢を考えさせたいという思いから、問題解決型の道德を行った。最終的な生徒の意見は「ゴミ山をなくす・減らす」という意見が多く、さらに思考を広げたり深めたりできるような扱い方を考えていく必要があると感じた。
----------	--

2. 改善点	・ 数学の授業では、英語の学習との関連を図るとさらによいと考えている。英語科の教員と連携しながら、学習した単語や文法表現を活用することで、数学だけでなく英語の学習内容の定着を図ることも可能である。 ・ パヤタスのゴミ山の授業では、生徒を葛藤状況におく工夫が必要である。第 1 時で問題点を整理している分、「ゴミ山はなくすべきもの」だという思いの方が強くなってしまう。そのため、「ゴミ山はなくてはならない存在」という思いを聞いても、はじめはあまり理解できなかったという声もあった。ただ伝えるのではなく、現地の人々の映像を取り入れるなどの工夫が必要であったと感じる。第 3 時において映画「神の子たち」を鑑賞したが、映画を見てはじめて理解できたと答えていた生徒も少なくなかった。先に映画を鑑賞することも効果的だったのではないかと感じる。 ・ 今回の単元は、フィリピンの負の部分に触れることが多く、課題を解決していこうという意欲の向上は見られたが、フィリピンのよさや日本のよさを感じる場面が少なかった。世界の問題を扱うだけでなく、豊かな面や他国と比較したときのよさを取り上げながら単元構成を考えていきたい。
3. 成果が出た点	・ 授業前アンケートでは「社会で問題になっていることについて、どうすればよいか考えたことがある」への肯定回答が 65.0%であったが、授業後のアンケートでは、全員の生徒が世界の問題を知り、問題解決について考えることができた。授業後の感想からもフィリピンという国を通して、文化や考え方など異なる価値観に触れ、多様な価値観のよさに気づくことができたことが分かった。 ・ 「1 人では考えられないことも、みんなで考えればよい答えが見つかることも分かった」という意見もあり、話し合ったり議論したりしながら自分の考えを見つけさせていくことができた。 ・ 世界の問題を他人事としてではなく、自分事として考えている生徒が多くいたことは大きな成果であった。私たちとは関係ないという意識ではなく、日本や身近な地域、そして学級と関連づけながら、私たちの問題ではどうだろうという意識がもてるようになっている。
4. 備考（授業者による自由記述）	「誰もが幸せな社会のために」ということを生徒に問い続けていく中で、私自身も、教師として地球市民として、誰もが幸せな社会のために何が必要なのか考え続けた。この答えがない問題について、生徒はもちろん、教師も生徒とともに考え続けることが大切なのではないかと感じている。「No one will be left behind（誰一人取り残さない）」の実現のために、これからも生徒とともに問いを深めていきたい。

〔ゴミ山の派生図〕



〔ワークシート〕

道徳ワークシート ◎バヤタスの人々が幸せになるために、ゴミ山問題をどうすれば解決できるか考えよう

番 氏名 ()

3 できること


バヤタスのゴミ山

どうする？

↓

なぜ？

↓

どうなる？

↓

どんな課題がある？

参考資料：

- ・ 学習指導要領（文部科学省）
- ・ 私たちが目指す世界 子どものための「持続可能な開発目標」～2030 年までの 17 のグローバル目標～
 (http://www.savechildren.or.jp/news/publications/download/sdgs_child_friendly.pdf)
- ・ 「考え、議論する道徳科授業の新しいアプローチ 10」 諸富祥彦 編著（明治図書）
- ・ 「神の子たち」 四ノ宮浩監督作品（office4）
- ・ SDGs インデックス&ダッシュボード (<http://www.sdgindex.org/>)